

市民のみなさんから寄せられた「ごみ減量化への工夫やアイデア」を紹介します

問新ごみ処理施設整備室 ☎782・0263

市では新たなごみ処理施設の建設整備に向け、ごみ減量への意識をさらに高め、一層のごみの減量化に取り組むきっかけづくりとして、「ごみの減量化やリサイクル」のために家庭で取り組んでいる工夫やアイデアを募集しました。みなさんから寄せられたアイデアから、家庭でもできる取り組みを紹介します。ぜひ参考にいただき、ごみの減量化と資源化に引き続きご協力をお願いします。

「生ごみコンポスト」を使用しています

夏は畑にたい肥枠を置いて生ごみをたい肥化し、冬は段ボールコンポストや電気式の生ごみ処理機（肥料化）などを試しています。

生ごみをきちんと分別することで、燃えるごみを出す頻度は、月1回（45リットル指定袋）程度で済んでいます。



▲ダンボールコンポスト

「ヘチマたわし」を使用しています

合成繊維のスポンジはマイクロプラスチックを出してしまうので使わないことにしています。

ヘチマなら、破片が流れても天然素材なので安心ですし、最後は土に戻せばごみになりません。



「着なくなった着物」を再利用しています

着物に使われているシルクは貴重なので服にリメイクしたり、汚れが気になるものは細く切って裂き編みにしたり、最後は「はたき」にするなど、とことんリサイクルを行っています。

はたきにリメイク▶



「リメイクの封筒」を使用しています

古いカレンダーや大判の封筒のきれいな部分を使って、小型の封筒にリメイクして郵便物などを出しています。



リメイクした封筒▶

「余計なもの」を買わない

ごみは、結局買ってくるものなので、買わないことが一番のごみの減量法だと思います。ものを買う代わりに、なるべく頭と手を動かしてごみの減量やエコライフを楽しんでいます。

ごみを減らす工夫は小さなことから！

ごみ処理には電気や燃料などのエネルギーを消費し、環境にも影響を与えます。ごみの減量やリサイクルは、身近でだれでもできる環境保護活動です。将来に向けて美しい環境を残すため、小さなことでもできることから始めましょう。



相談電話番号
☎0120・007・110
(全国共通・フリーダイヤル)
※IP電話からは接続不可

内 いじめ・体罰・虐待など、
広く子どもの人権に関する
相談

日 8月26日(金)、29日(月)～9月1日(木)
午前8時30分～午後7時
・8月27日(土)、28日(日)
午前10時～午後5時

全国一斉「子どもの人権110番」強化週間
問 法務局 南魚沼支局
☎772・2164